

有珠湾と長流川の観察記録

山 崎 安 紀

伊達の白鳥達

1. 始めに

北海道の南西部に位置する伊達市における84年～85年シーズンの白鳥の渡り・越冬は、有珠湾と長流川の2個所で見られました。記録によると、昔は隣地室蘭市に白鳥が飛来していましたが、室蘭市全域の工業化が進み白鳥の飛来地としての性質が失なわれてしまったようで、現在では白鳥台という地名だけが残されています。伊達市においては有珠湾で十数年前から飛来が確認され、付近住民の餌付けにより年々その数が増加し現在に至っています。また長流川にはそれ以前から飛来していた模様ですが、はっきりとした記録が残っていません。

2. '84年～85年シーズンのまとめ

(1) 秋から冬(11月～12月)の白鳥達

初認は有珠湾において84年11月14日にオオハクチョウ4羽が確認されました。彼らは全て成鳥で頭部が少し「鉄色」に染まっているものでした。その後徐々に増え続け幼鳥をまじえた家族単位のグループが目立つようになりました。そしてグループ毎にそれぞれ湾内の気に入った場所に散在するようになり、有珠湾だけでなく4km程市街寄りの長流川にて越冬するものや、伊達からさらに南下し本州方面へ行くオオハクチョウ達も少なくありません。

(2) 真冬(1月～2月)の白鳥達

1月に入ると何回か寒波が訪れ長流川は2～3日間全面結水することがありますが、オオハクチョウは有珠湾へ向ったり河口の海上で採食していました。有珠湾にいる白鳥達も薄い氷を割り込み、子供達の与えるパンを食べていました。またこのような風雪の強い時などは湾内の白鳥達は一個所に集まり、身を寄りそうようにして風をしのいでいました。2月に入るとオオハクチョウの数が安定してきて、中旬にピークに達します。今シーズンの最大羽数は2月20日の162羽でした。2月後半頃から湾内上空を飛び回るオオハクチョウが見られまた幼鳥達が親鳥から独立し始めている様子が見られました。

(3) 冬から春(3月～)の白鳥達

3月に入ると寒さも緩み白鳥達の飛行訓練も増え、有珠湾と長流川の往復をはじめ、昼間有珠湾にいて夜間長流川にいるパターンが生じてきました。時々伊達市内の上空まで飛び回っているものも見られました。この頃になると有珠湾で潮干狩を楽しむ人が多くなり、白鳥達は自然と長流川に

〒052 伊達市山下町178-112

☎0142-25-2749(自)

☎0142-23-3331(内線355)(勤)

集るようになりました。3月中旬になると10羽～40羽程のグループとなって帰北が始まりました。又、本州方面から渡ってきたオオハクチョウが見られました。長流川において、3月21日に成鳥9羽幼鳥2羽のコハクチョウが羽を休めたのを皮切りに4月2日に約50羽が通過、4月4日成鳥18羽幼鳥15羽、4月9日に約40羽の群と29羽の群、4月10日に約35羽の群と10羽の群、4月11日に28羽、4月12日に幼鳥1羽ということで、確認されただけでも約240羽で実際にはまだかなりの数が伊達を通過コースとしているようです。又、オオハクチョウも本州方面から渡ってきたものが主流を占め、彼らの中には体が「鉄色」に染まっている個体が多数見られました。そして5月3日の午前10時頃、成鳥1羽幼鳥1羽が釣り人を恐れるようにして飛去し、終認となりました。

3. 84年～85年シーズンをおえて

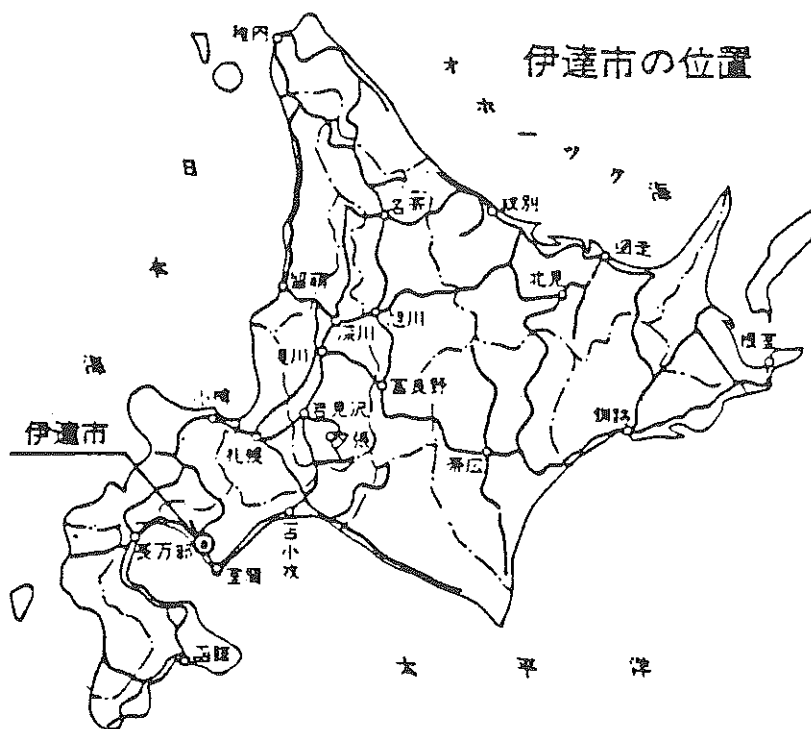
84年に白鳥の会の事を知り、秋の飛来時からできるだけ頻回の観察を目標に白鳥達を見続けてきたわけですが、吹雪や大雪、時間的な制約で思うように調整出来ない事もありました。しかし観察を続けている内に、どんどん白鳥にのめり込み、白鳥達の行動などますます興味深くなってきました。

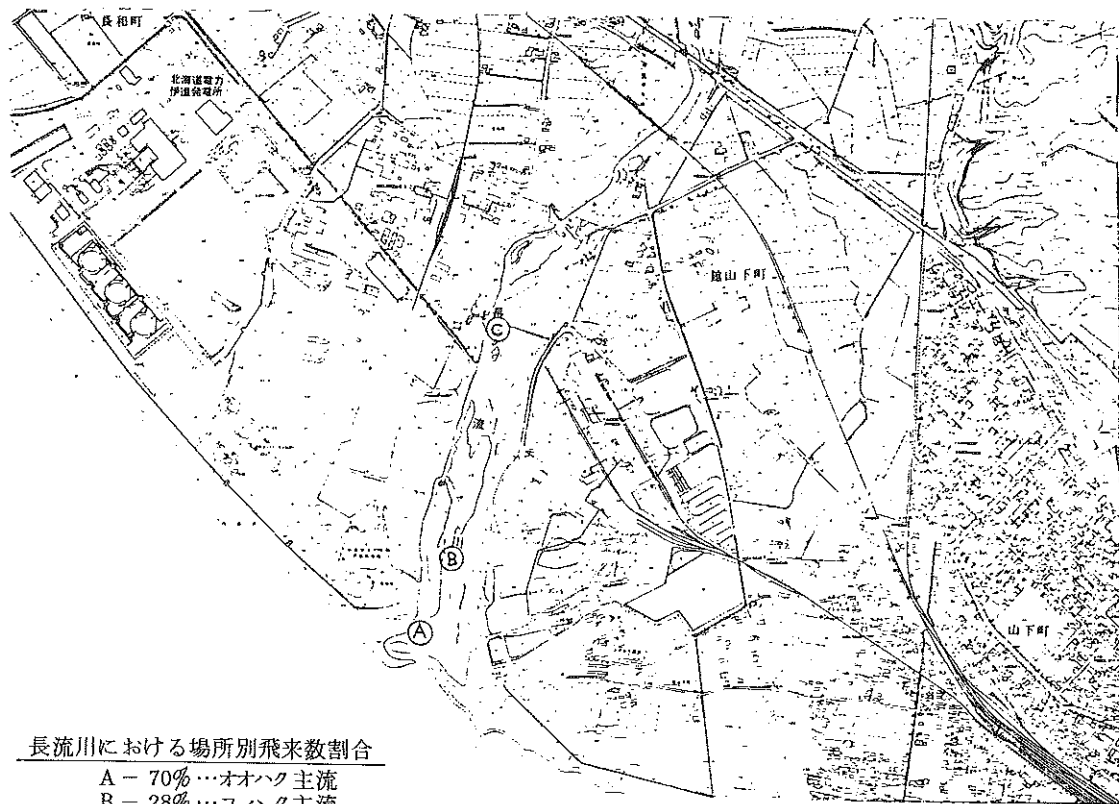
まず、白鳥達の渡りのルートの事ですが、コハクチョウが何羽も立ち寄る事が判明し、正直言って驚きました。その大部分が1泊とか羽休め、あるいは上空通過で、長流川に降りたコハクチョウはオオハクチョウを恐れてか、あるいは人を恐れてか川の中洲にいるのが多かったのですが、中にはオオハクチョウの集団の中に加わってエサを食べるのも見られました。又、何羽かは「鉄色」に染まったコハクチョウも混り、本州から渡ってきたオオハクチョウと共に結構多かったように思われます。コハクチョウ達は何グループかで立ち寄りましたが、幼鳥の混じる割合が高いようでした。この季節オオハクチョウ達は気象条件等を選んで帰北するのに対し、コハクチョウ達は深い霧の中や昼夜を問わず北上していく行動力にはただ感心してしまいました。幼鳥2羽が何日か体力をつける為か滞在し、内1羽は単独で北上し、残りの1羽も他のオオハクチョウと共に北上していきました。そのコハクチョウの幼鳥が来年オオハクチョウと一緒に当地に立ち寄るかどうかが興味があります。又、オオハクチョウも当地を中継地として利用するのがかなりあり、最後に残った幼鳥1羽と成鳥1羽は共に本州組で、成鳥の方はかなり「鉄色」に染っており、片目が見えなく人慣れしていて、いつ帰北するか心配していました。結局彼らは、釣り人を恐れるようにして帰北しましたが、彼らが安心して居れるのは、冬期間のみしかないように思います。それと今シーズンは残念ながら標識鳥は確認されませんでした。〔昨シーズンはオオハクチョウの標識鳥2C98(小湊にて放鳥)が飛来して(飛来日不明)、有珠湾で越冬し、翌84年3月29日まで滞在しました。〕又、オオハクチョウに混じってコハクチョウの幼鳥やオオハクチョウで片目の成鳥(片目のジャックと命名)、それにこれもオオハクチョウで左頬にキズのある成鳥(キズ父さん)、長流川にて春先に左目にケガをしてしまったオオハクチョウの成鳥など数羽顔やケガ等にて判別可能な白鳥達もいて、来シーズンも当地に飛来してこないかと心待ちしています。

伊達市の有珠湾や長流川には白鳥達の自然餌が少ないのが現状で、当地に飛来するオオハクチョウの大部分はかなり人慣れしていて、観光客や附近の人達の与えるパンやスナック菓子類に依存する形になっています。普段、海や川で採食している白鳥はわずかですが、やはり厳寒期(特に河川の結氷時)は人の与える餌に頼らざるを得ないようでした。又、自然餌を求めてさらに南下するオオハクチ

ョウも見られました。

今年から市内の有珠中学校生によって毎朝有珠湾の白鳥飛来数の調査が行なわれました。彼らはもちろんこれからも白鳥達の観察を続けていくのでしようが、将来その輪がより大きく広がっていけばと思います。このように伊達には白鳥が年々増加し続けていますし、彼らの渡りのルートも含めて今後の観察に一層力を入れなければならないと思います。





長流川における場所別飛来数割合

- A - 70% …オオハク主流
- B - 28% …コハク主流
- C - 2%



有珠湾における場所別飛来数割合

- A - 3%
- B - 1%
- C - 3%
- D - 14%
- E - 65% …観光客が主に来る場所
- F - 14%

有珠湾・長流川の白鳥渡来数記録 (1984~1985)

月・日・時	個体数	有珠湾		長流川				摘 要
		オオハク チョウ成	オオハク チョウ幼	オオハク チョウ成	オオハク チョウ幼	コハク チョウ成	コハク チョウ幼	
1984. 11. 14. 8:00~	4	4	0					頭が鉄色がかっていた
15. 8:00~	4	4	0					
16. 8:00	4	4	0					
12:30	7	7	0					真白な3羽飛来
17:50	9	9	0					
17. 8:00	21	16	5					亜成鳥を含む家族群飛来
14:30	21	12	0	4	5			この家族群は子離れまで行動 共で、前日とこの日、一時長 流川に来る
18. 6:30	21	12	0	4	5			
8:30	21	16	5					
19. 8:30	25	18	7					
20. 8:30	25	18	7					
21. 8:00	40	27	13					3家族となり幼鳥は6・5・2舎
22. 7:30	41	28	13					
23. 12:30	43	30	13					
24. 7:30	43	30	13					
25. 9:30	42	29	13					
26. 7:30	43	30	13					
27. 9:30	42	29	13					成1羽、伊達郊外の畑で採食
28. 7:30	42	29	13					
29. 7:30	42	29	13					この頃より匂に入った湾内で散在
30. 7:30	42	29	13					
12. 1. 7:30	42	29	13					自然採食のみで越冬の家族有
2. 13:00	42	29	13					
3. 7:30	42	29	13					
4. 8:00	38	27	11					
5. 8:00	43	30	13					
6. 8:00	37	26	11					
7. 8:00	47	32	15					
8. 7:30	51	35	16					
{	データ紛失							
23. 12:00	102	75	21	6	0			
24. 7:30	?	?	?	?	?			猛吹雪のため、確認できず
25. 7:30	4	?	?	4	0			湾内波沿い長流川結氷
26. 8:00	?	?	?	0	0			有珠湾結氷 計100羽以上、 長流川下りられず
27. 7:30	121	95	22	4	0			
28. 7:30	105	79	22	4	0			24日からの寒波去る

月・日・時	個体数	有 珠 湾		長 流 川		摘 要		
		オオハク チョウ成	オオハク チョウ幼	オオハク チョウ成	オオハク チョウ幼		コハク チョウ成	コハク チョウ幼
	12:30	118	86	28	4	0		観光客の来る1ヶ所に大部分集
29.	8:00	132	91	23	10	8		
	12:30	124	83	21	12	8		確認後3(4)南下で飛去
30.	8:30	118	82	21	11	4		
31.	14:30	102	66	28	8	0		
1985.								
1.	1. 10:00	120	91	24	5	0		
	2. 8:30	112	88	20	4	0		吹雪
	3. 8:30	102	78	20	4	0		幼鳥内訳 5・6・2・3・3・1
	4. 8:30	110	88	18	4	0		
	5. 7:30	123	96	23	4	0		
	6. 9:30	142	111	27	4	0		10:30 3(2) 飛来
	7. 7:30	127	105	22	0	0		長流川結氷 河口へ下りられず
	8. 7:30	141	115	24	2	0		
	9. 7:30	129	101	24	4	0		
	12:00	135	101	24	6	4		長流川2(4)の内幼1羽はぐれ鳥
10.	7:30	142	107	28	7	0		
11.	7:30	133	93	21	13	6		長流川 8:00 2羽飛来
12.	7:30	135	101	23	6	5		長流川だいが融氷
	14:00	137	101	23	8	5		
13.	10:00	141	104	21	10	6		吹雪 長流川カモ数85以上
14.	7:30	132	99	22	6	5		
15.	11:00	145	103	25	13	4		吹雪
16.	7:30	139	108	28	2	1		地吹雪
17.	7:30	123	101	22	0	0		長流川大雪のため河口へ下りられず
18.	8:30	128	104	23	0	1		
19.	7:30	113	93	20	0	0		
21.	7:30	131	94	25	11	1		
22.	7:30	125	93	23	9	0		
23.	7:30	130	93	22	11	4		
24.	7:30	106	82	15	6	3		8:00 有珠内訳不明 8羽飛来
25.	7:30	116	96	20	0	0		長流川結氷河口へ下りられず
	10:00	122	99	21	0	0		"
26.	7:30	111	93	18	0	0		長流川結氷
28.	7:30	133	106	27	0	0		" 吹雪
29.	7:30	134	105	29	0	0		"
30.	7:30	114	94	20	0	0		"
31.	7:30	135	109	24	1	1		"

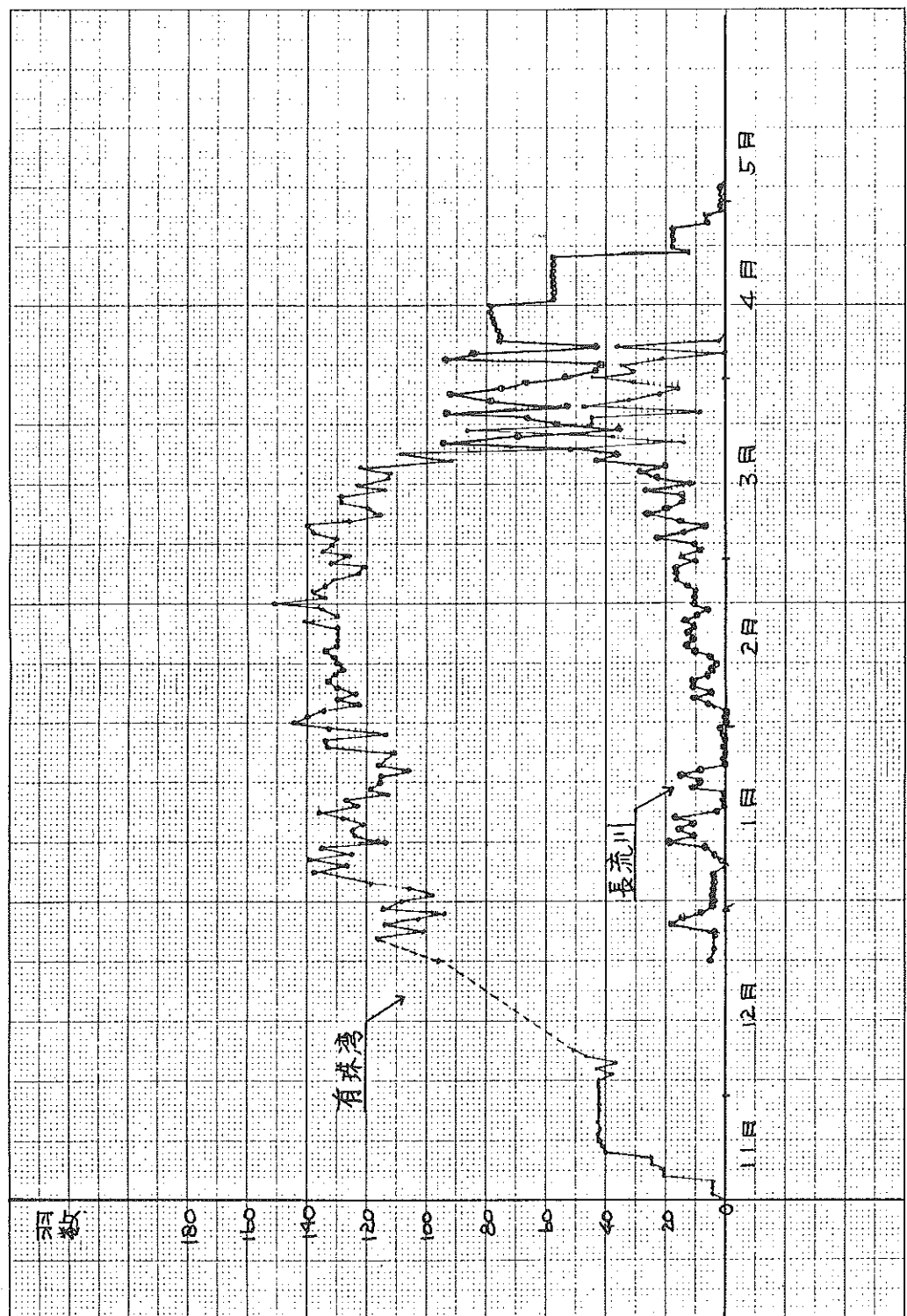
月・日・時	個体数	有 珠 湾		長 流 川				摘 要
		オオハク チョウ成	オオハク チョウ幼	オオハク チョウ成	オオハク チョウ幼	コハク チョウ成	コハク チョウ幼	
2. 1. 7:30	145	117	28	0	0			長流川結氷
2. 7:30	140	112	28	0	0			//
3. 13:00	9	—	—	6	3			有珠湾内祭り準備のため確認 できず
4. 7:30	135	104	31	—	—			長流川結氷、見あたらず
5. 7:30	129	101	22	2	4			長流川越冬組は海に出て採食 したらしい
6. 8:00	141	105	25	6	5			
7. 7:30	129	103	21	4	1			湾内飛行訓練多し
8. 7:30	141	107	23	6	5			
9. 7:30	144	104	29	6	5			
10. 8:00	137	108	23	2	4			
11. 11:00	132	106	22	4	0			
12. 7:30	133	106	24	3	0			
13. 7:30	136	107	24	4	1			
14. 7:30	144	110	24	6	4			
15. 7:30	143	106	24	8	5			吹雪
16. 8:00	141	107	23	6	5			
17. 12:00	155	117	24	9	5			湾 13:30 3(2)通過、室蘭方面へ
18. 7:30	141	108	23	6	4			
19. 7:30	141	111	24	4	2			
20. 7:30	162	127	24	6	5			シーズン中の最高羽数
21. 7:30	145	109	25	6	5			大雪、伊達 6 時現在45cm
22. 7:30	149	113	25	6	5			
23. 7:30	147	108	26	8	5			有珠 8:40 3(2)飛去、長万部方 面南下?
24. 9:30	148	107	24	12	5			
25. 7:30	140	100	23	12	5			
26. 7:30	137	96	24	12	5			
27. 8:00		—	—	10	5			
12:00		112	17	—	—			
28. 7:30	142	107	25	8	2			
3. 1. 7:30	141	102	24	10	5			
2. 7:30	144	111	24	4	5			
3. 10:00	143	106	26	6	5			
4. 7:30	153	106	24	14	9			
5. 7:30	152	111	27	11	3			
7. 7:30	147	116	24	6	1			
8. 7:30	141	104	22	10	5			
9. 7:30	142	92	24	21	5			この頃より有珠と長流川往 復始

月・日・時	個体数	有 珠 湾		長 流 川		摘 要	
		オオハク チョウ成	オオハク チョウ幼	オオハク チョウ成	オオハク チョウ幼		コハク チョウ成
10. 10:00	140	97	23	16	4		
11. 7:30	144	104	25	10	5		
12. 7:30	144	105	24	10	5		
13. 8:00	141	94	20	19	8		
14. 7:30	135	100	23	10	2		
15. 7:30	136	92	21	15	8		
16. 7:30	141	92	20	20	9		
17. 7:30	142	97	25	15	5		
18. 7:30	135	73	19	33	10	本格的に往復始まる	
19. 7:30	145	83	26	24	12	市街を低空で飛び回る	
20. 7:30	104	40	12	36	16		
21. 7:30	109	6	8	69	26		
11:00	129	6	8	78	26	9	2 本州方面から来たコハクの第一陣
16:00	129	6	8	78	26	9	2 人慣れしているコハク 伊達にもコハクが寄るとは感激だ
22. 7:00	108	29	9	50	20		鉄色のコハクも含まれる コハク北上
12:00		—	—	56	22		
17:30	104	5	7	70	22		
23. 7:30	123	69	18	23	13		鉄色の幼鳥増える
12:30	108	19	9	59	21		
17:30	108	4	4	74	26		
24. 8:30	101	31	14	41	15		
12:30		—	—	41	15		
17:30	106	31	14	44	17		18:00 2(3)飛来
25. 7:30	112	31	14	46	21		
12:30	113	20	3	59	31		
17:30	110	計24		60	26		
26. 7:30	103	6	3	68	26		
12:30		—	—	66	25		
17:00	106	0	0	74	32		
27. 7:30	101	32	16	40	13		
12:30		—	—	42	15		
17:30	102	13	11	56	22		
28. 7:30	111	21	11	54	25		成1羽、朝ケがしたらしく左 目血が出ている
12:30		—	—	54	25		眼球そのものに何かささった

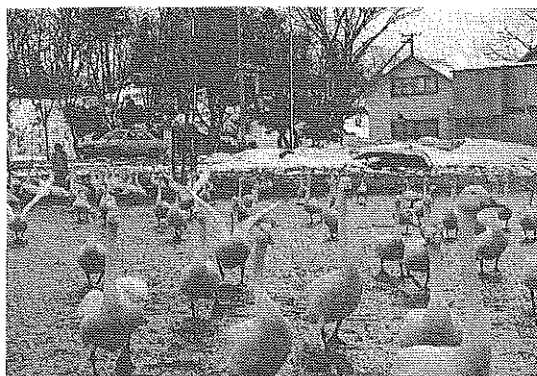
月・日・時	個体数	有 珠 湾		長 流 川				摘 要
		オオハク チョウ成	オオハク チョウ幼	オオハク チョウ成	オオハク チョウ幼	コハク チョウ成	コハク チョウ幼	
15:00				56	25			らしくかなり腫れていた。しかし、4月2日まで傷をいやし少し見えるらしく、その日北上
17:30	115	13	9	64	29			
29. 7:30	114	13	9	65	27			
12:30				60	26			
17:30	101	5	8	62	26			
30. 7:30	91	13	3	50	25			
12:30	107	21	9	56	21			
17:30	111	2	0	計109				
31. 7:30	98	22	9	47	20			
12:30	100	22	9	49	20			
17:30	100	22	9	49	20			
4. 1. 7:30	100	計45		40	15			
13:30	103	20	9	54	20			
2. 7:30	75	20	11	35	9			
12:30	1			35	9			
17:30	69	7	6	42	14			
3. 7:30	77	22	13	33	9			
12:30				38	11			
17:30	83	計8		57	18			
4. 7:30	115	18	3	41	20	18	15	コハク疲れているらしく長い間休む
12:30	115	18	3	41	20	18	15	コハク何家族かに構成されているらしい
17:30	115	18	3	41	20	18	15	
5. 7:30	85	0	0	60	25			コハク北上
12:30				53	17			
17:30	82	0	0	60	23			
6. 7:30	80	25	12	34	9			カップルになった幼鳥が目立つ
12:30	79	25	12	33	9			
14:00				36	11			
17:30	84	1	1	59	23			
7. 5:30	76	1	1	52	22			
17:30	76	0	0	53	23			
8. 5:30	76	0	0	53	23			7:30頃より集結始め、40羽位飛び立ったが、中止になり舞い降りる
9. 6:30	77	以後	ゼロ	54	23			12:00頃、40羽程の編隊のコハク北上
12:30	106			54	23	計29		コハクの群 14:00頃北上

月・日・時	個体数	有 珠 湾		長 流 川				摘 要
		オオハク チョウ成	オオハク チョウ幼	オオハク チョウ成	オオハク チョウ幼	コハク チョウ成	コハク チョウ幼	
	17:30	82		55	23	3	1	コハク幼鳥かなり人慣れしている
10.	6:30	78		54	23	0	1	コハクはぐれて長流川まで来た幼鳥か
	8:00	112		54	23	26	9	コハク霧の中からきて、幼鳥1羽5分位遅れて飛来
	12:30	112		54	23	26	9	鉄色のコハク混じる
	17:30	122		54	23	計45		18:05 霧の中北上、コハク
11.	6:30~	78		54	23	0	1	7:45 28羽コハク通過
12.	6:30~	79		54	23	0	2	コハク幼鳥1羽だけ増える。
13.	6:30	79		54	23	0	2	人慣れしている幼鳥
	17:30	56		35	19	0	2	
14.	8:00~	58		37	19	0	2	オオハク赤茶2羽増え(内1羽片目のみ) 5~6羽を残し皆しきりに帰りたがり飛行訓練もする
15.	7:00~	58		37	19	0	1	コハク幼鳥1羽のみで北上
16.	7:30~	58		37	19	0	1	飛行訓練
17.	7:30~	58		37	19	0	1	"
18.	7:30~	58		37	19	0	1	14:30頃より集結し始め、17:00全羽飛行し数羽は降り、あとは室蘭方面へ去ったが、17:50再び戻ってくる
19.	7:30~	58		37	19	0	1	飛行訓練
20.	7:30~	58		37	19	0	1	"
21.	7:30~	58		37	19	0	1	つり人のため全羽海へ避難する
22.	7:30~	13		5	7	0	1	7:20 オオハク44羽北上長流川上流へ飛び去る
23.	7:30~	18		9	8	0	1	かなり赤茶けた幼鳥増える
24.	7:30~	18		9	8	0	1	人慣れしていて側に来る成1羽ビッコ
25.	7:30~	18		9	8	0	1	
26.	7:30~	18		9	8	0	1	
27.	10:00~	6		3	3	0	0	コハクの幼鳥、オオハクと共に北上
28.	8:00~	7		3	4	0	0	疲れた様子の幼鳥増える
29.	5:30~	2		1	1	0	0	残ったのは片目の幼鳥と、前日来た幼鳥
30.	7:00~	2		1	1	0	0	釣り人により、落ちつけなくなる
5.	1. 7:30~	2		1	1	0	0	"
	2. 7:30~	2		1	1	0	0	"
	3. 8:00	2		1	1	0	0	10:00頃、川で釣りをしている人により、北上する
4.		0	0	0	0	0	0	

☆ 横線は、事情により確認できなかった場所



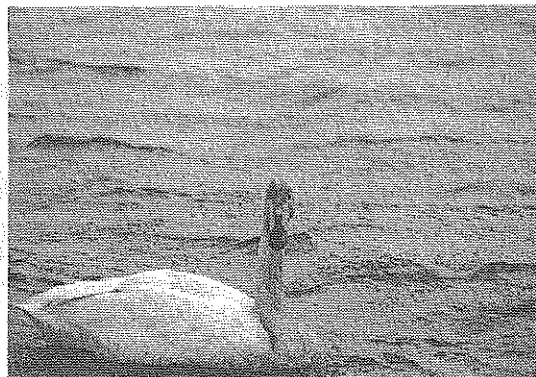
有珠湾と長流川の白鳥の飛来数の変化



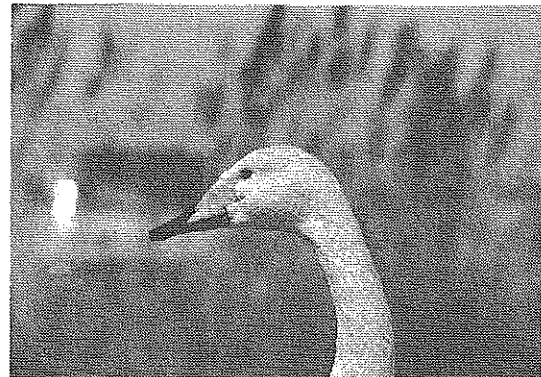
「有珠湾」
84～85シーズン
湾内の◎地区のオオハク
潮が引いている状態。



「長流川河口全景」
84～85シーズン
右手、昭和新山 左手、有珠山
奥にコハクの群がいる。



「ジャック」
1985. 4. 14～5. 3 帰北。長流川にて
右目が見えなく、人慣れしている。
一緒に飛来した1羽と共にならり鉄
色であった。



「キズ父さん」
1984～85. 4. 22 帰北。
有珠湾越冬組、長流川にて
左側面に2cm位の黒い傷あとあり。(目
立つ)黄色の部分薄い、有珠では西
側に多くいた。3・21日よりチョコ
ロして24日から長流川定住。
カップルで昨シーズンも写真にて確認